(令和4年)12月7日(水曜日)

独自に「学士力」定め実質化 学生に分かりやすく能力を分解

自己診断する。

革について、渡邉学長と小山内幸広大学企画室長に聞いた。 実質化していった。中でも「共通学士力強化ハンドブック」は育成した ライフデザイン学部)は、2010年から独自にAEGGポリシーと6 い能力を丁寧に解説しており、大変分かりやすい内容である。一連の改 つの学士力を定めた。東日本大震災やコロナ禍を経て、徐々に形になり 仙台市に立地する東北工業大学(渡邉浩文学長、工学部、建築学部、

渡邉学長と小山内室長に聞く

はAdmission、Eは AEGGポリシーのA も収集するようにしまし 動に関する活動のデータ 導方針を定め、正課外活

|いきました」。

OAEGGと5つの

外活動について学生の指

Education、1つ目の

3つのポリシーに該当す した際に、Guidance リシー策定について検討 る。渡邉学長は次のよう を意味する。A・E・G GはGraduation 2 に説明する。「3つのポ つ目のGはGuidance (1つめ) は、それぞれ |も難しく、試行錯誤が続 | 務・学生・就職) の委員 一った。とはいえ、各学科 どの学士力(能力)が身 つの学士力」を定義し、 で足並みをそろえること | 主要委員会(入試・教 各学部学科のどの科目で | 果の可視化やPDCAサ につくのかを決めてもら | スタート。 同委員会は、 同時に大学独自の「6 学長や副学長、学部長、

| 本大震災が発生したた | 日常的な大学の意思決定 | は少しずつ議論が続いて | 同様となる。 |修成果の可視化について | はそのまま大学の決定と | 時中断したが、AEGG |め、一連の教育改革は一 |を担う「代議員幹事会」 いたという。 に基づく内部質保証や学 2011年3月に東日 どがメンバーであるが、 いるので、委員会の決定 メンバーが全員含まれて 長及び関係事務管理職な

学

やアルバイトなどを通じ 部活、インターンシップ 成果の公表、サークルや

いたという。「どういう

「学生にとっての分か

| ントカ、「創造力」と 一ンカ、⑤セルフマネジメ は、④コミュニケーショ

全学共通科目は「人工

ウンして、どのように能

に構成要素をチャンクダ

ライン授業を実現すべく

| 教職員が一丸となりまし

た。その際は、新しい試

ています。そこで、正課 て大学生活の中で成長し

|社会に送り出すのか、本 | 2020年にAEGGポ |を「5つの共通学士力」

|能力が身についた学生を | り易さを重視した結果、

う5つに分解され、これ

| (1年から3年次)で、

|と言っても、それが具体 | していくというサイクル | 及び学生支援の改善に結

みをしては学生の評価や

| データを見てすぐに改善

の結果を、さらなる教育

一を中心に、東北工業大学

を回していく大学企画室

「キャリアデザイン」

に「創造力を育成する」 トも解説している。確か 力開発ができるかのヒン

③課題発見・解決力とい

ぞれ1年次)、そして、 スキル」「英語」(それ |知能総論」「スタディ・

「統合力」の両者に跨る

術

新

実験のみではなく、学会 生たちは必ずしも講義や

発表をはじめとする研究

聞

も必要だろうと。これは

正課外教育の方針で、学

しつつ議論を積み上げて |様々な大学の事例を調査 か、それらはどのように 学独自の学士力とは何 測定して評価するのか、 であり、専門学士力は、 て身につけるべき学士力 一リシーを改訂し、これま 力となります」。 門的知識・技能などの能 所属学科で学ぶ高度な専 は、学部・学科に関わら 専門学士力」に分離しま での学士力を「5つの共 通学士力」と「各学科の ず本学の学生なら共通し した。「共通学士力」

イクルの実質化の議論が | 員会」を設置して学修成 め、「内部質保証推進委 |証体制を一歩進めるた 2019年、内部質保 |情報収集・分析力、②論 |3つのキーワードが重 する。「創造力」は、① 要」と述べたことに由来 理的思考力、「統合力」 融合を目指す「統合」の 開」、そして実社会への 管理事長・名誉学長が 学士力は「創造力」と して実証する「創造」、 る。これは、岩崎俊一名 標準化と普及を図る「展 「統合力」に分けられ 「文化には、仮説を提案 新しく定義された共通

> | る。例えば、工学部電気 ⑥電気電子工学総合とな一ついて、学生自身に腹落 電子応用、⑤情報応用、 礎、③情報基礎、④電気 | 学基礎、②電気電子基 |電子工学科であれば①工 り、学生は後述の「キャ ーブリックになってお としている。 これらはル | 全学生が必修となる。 中 | 的に何かは理解しにく | の連続でした。 評価の高 「専門学士力」を定め リアデザイン」科目等で 〇能力を細かく分解 各学科は、それぞれの メージして設計するほ ン」は、自らの将来をイ ばしていくことの意義に 異なる評価軸で自己を伸 を見据え、高校までとは ても学ぶ。「自分の将来 ればならないのかについ を伸ばしつつ測定しなけ か、なぜこのような能力 門学士力を定めているの か、なぜ共通学士力や専 るのである。

渡邉学長(右)と小山内室長

|と専門学士力が身につく | と小山内室長は指摘す | の科目でどの共通学士力 | が大事なポイントです」 から確認する。 データを収集したり、外 | 業時の成長実感」 などの いく。アンケートで「卒 のかを表にして明示して 部のアセスメントテスト る。 通学士力について、さら

|でも「キャリアデザイ|い。理解しにくいものを 一の共通学士力に沿って測 ればよいかを説明してい めに「具体的に」何をす らにそれを身につけるた で、理解可能になるまで 「能力」を分解して、さ 『皆さんのチカフを5つ 渡邉学長はこの中で、

を可視化します。そし らゆる経験や成長がデー させていけるサイクルを 定し、「弱み」「強み」 タ化されて、卒業時に するように、大学時のあ ャリア形成支援』と解説 し、改善して行くための て、そのチカラを伸ば 「ディプロマサプリメン

| る。そして、それぞれど | ちしてもらえるかどうか |説明とともに、5つの共 | である。 これらすべての 士力強化ハンドブック」 特筆すべきは「共通学 ンクの貼り方まで、オン 置された。 の撮り方からLMSのリ

D・IR企画部会」が設 サイクルが実質化 ト」として成果が「見え | み合わさり、同大学の 設計したのが、本学のキ | DXとして学生にも評価 で、同委員会の下に「F | D・IR企画部会とその 計画を立て実行し、伸長 | 視聴できるようになっ コロナ禍がきっかけ Oコロナ禍でPDCA | テム」として機能し始め 「コロナ禍では、動画 が高いという。

| 磨くことは難しい。そこ | 表してもらいました。現 裏方である大学企画室 一できました。コロナ禍を |Dの中心を担うのが、F 化と歯車ががっちりと組 |シーと「学士力」の実質 |た。 これは同大学の教育 実し、対面授業を後から のデータを収集・評価し たのである。 「IRやF 善 活動が、 AEGGポリ |配信システム」として結 Aサイクルは 「授業録画 思います」と渡邉学長。 に根付いていったように を回していく文化が大学 を行う(A)という流れが い授業はFD研修会で発 | 現在は授業の出席率や授 在はIRとして教育活動 通じて、 全学が PDCA (C)、FDで改善活動 この授業改善のPDC こうしたPDCAの改 (旧:学長室)であり、 「教学マネジメントシス

と外部アセスメントテス | 析中です。 こうした分析 ト結果(共通学士力スコ 一ア)との関係について分 | 業外学修時間と成績の関 係、正課内外の活動経験 | EGGポリシーと2種類 |化した同大学が掲げるA 一から「見える化」してそ もちろん、学生もデータ 一てきた、と学長。大学は とで、ようやく形になっ て、授業レベルにおい 22年度からは、全学レ | れぞれのPDCAサイク 一て、アセスメントポリシ の学士力。このサイクル ルを回していく。時代に 標がきちんと整合すると するという。 度からはGX教育を開講 はDX教育、2023年 合わせて全学共通教育と シーから各学科の学修日 の取り組みは、全学ポリ た内部質保証と教育改善 ベル、学科レベル、そし して、2021年度から コロナ禍によって実質 2010年から始動し ODX LGX to

和 東京力一 H 本私立学校振興 ・ロ 島 1-7-5

内室長は展望する。20 | ら教育を改革するのであ び付けられれば」と小山 る | は地域ニーズに応えなが